

道行政 記録し保存、検証が必要。役割担う道立文書館。改革の渦中、独立機能守れるか
鈴江英一

いま北海道自治の中心的な課題をあげるとすれば、道州制(北海道道州制特区)、市町村合併それに道の行財政改革であろうか。いずれも緊急に取り組むべき課題として、道庁内外を席卷している観がある。合併や改革を推進する側には、もろもろの懸案を、この際一挙に解決しようとする意気込みが見られる。かねて統廃合をいわれつつ、手が付けられなかった支庁制度など俎上に上っている。

赤字再建団体の危機に対処しようとする道の行財政改革には、異論を唱えるのが難しいのか、ジャーナリズムの批判も鈍りがちのように見える。しかし、五十年後、百年後と言わず、十年、二十年先に道州制、市町村合併、道行財政改革はどのように振り返えられるであろうか。

いや遠い先でなくいまの私たち道民が、主権者としてこれらの問題をどのように検証出来るであろうか。検証するための素材、たとえば道の公文書、記録が的確に作成され保存されているのであろうか。

市町村合併もそうである。「平成の大合併」といわれる二十一世紀初頭の自治体再編成が何をもたらすか、これを検証するのに必要な各自治体の公文書はどのように保存されていくのだろうか。かつて一九五〇年代のいわゆる「昭和の大合併」では、公文書が根こそぎ散逸したところが多かった。記録の消滅は、郷土の歴史の抹殺ともなった。

この苦い経験を教訓として今世紀の大合併では、早くから文書館関係者が市町村文書の保存に取り組んできた。昨年、本紙十一月三十日文化欄掲載の平田豊弘氏の「合併で進む公文書廃棄」は、天草アーカイブズ(長崎県本渡市)の例だが、全国の範となる取り組みであった。

激動する状況であればあるほど、自治体は、一度立ち止まって自らの施策を検証することがあってもよいのではないか。自らを検証する理性を自治体行政に求めたい。検証のために必要となるのは公文書や記録の保存である。その保存は、地域のアイデンティティを失わないためでもある。

戦後、国や自治体の公文書・記録を残すために、アーカイブズ、つまり国公立の文書館・公文書館が各地で設立されるようになった。道内では北海道立文書館が一九八五年に設置された。いま札幌市でも公文書館の設置計画が進んでいると聞く。

文書館のある赤れんが庁舎が、国指定の重要文化財であることは、よく知られている。この文書館に収蔵されている幕末の箱館奉行所文書百六十七点が、二〇〇四年に重要文化財に指定された。幕末の古文書ばかりではない。開拓使時代前後の一万冊を超える公文書は、すでに重要文化財となっている京都府庁文書、山口県庁文書にくらべて、それを上回る質量の文書である。早晩、指定されることであろう。道民が誇るべき北海道遺産がここにもある。

だが、文書館の使命は、古い文書の保存のみにかかわることだけではない。また閲覧室や展示室のように外から見える機能だけではない。道州制、行財政改革など道行政の重要施策の決定過程と結果を示す公文書・記録を現在と後世の道民のために保存することが文書館の本来の役割である。事務を担当する各部局とは別の立場、歴史的資料として保存する観点に立つのが、文書館の存在意味である。

道には、現在取り組んでいる施策を、客観的に検証できるように記録し保存する「責務」(公文書館法第三条)がある。文書館がその責務を的確に担えるよう道に求めたい。「過去の遺産は、将来の実りをもたらす種子である」というのは、二〇〇三年にリニューアル・オープンしたアメリカ合衆国連邦公文書館の玄関台座に刻み込まれた言葉である。この言葉は文書館の普遍的な役割を示していると思う。

一方、文書館自体が現在の行財政改革の渦中にある。道の改革案によると、文書館について独立した機能をもつ出先機関としての位置づけなくし、職員の定数を全廃し、半数の職員を法制文書課内に置いて文書館業務を行わせるという。これではいま述べてきた文書館の使命は果たせないのではないかと危惧される。

このため、北海道史研究協議会、北海道歴史研究者協議会、北海道文化財保護協会は昨年十二月二十二日、知事宛に「北海道立文書館の維持存続についての要望書」を提出した。さらに三団体が呼びかけて、一月十日、四十団体による「道立文書館の規模縮小についての要望書」を道議会議長に提出した。願うところは、文書館が独自の判断で公文書を選別保存できるように独立した機能を維持すること、館長以下、専門的職員を配置し業務の体制を確立すること、これまで文書館が各地の公文書、私文書保存のために行ってきた指導や協力を後退させないこと、文書館の改革については利用者である道民の声をよく聞いてほしいということである。二月から始まる道議会の議論を期待をもって見守っていきたい。(すずえ・えいいち = 元道教育大教授、元国立史料館館長・教授)